

平成二十年度
高等学校入学者選抜学力検査問題

第一部

国語

注意

- 1 問題は、**一**から**四**まであり、7ページまで印刷してあります。
- 2 答えは、すべて別紙の解答用紙に記入し、解答用紙だけ提出しなさい。
- 3 問いのうち、「……選びなさい。」と示されているものについては、ア、イ、ウ、……の記号で答えなさい。

一

次の詩を読んで、問いに答えなさい。

(入江好之「花と鳥と少年」による)

問一——線「やまずに」は、どの文節を修飾していますか、ア～エから選びなさい。

ア 雪が イ 降りしきる ウ ゆれながら エ つつ立って

問二 次の a～c は、この詩を読んだ生徒が、五つある連のそれぞれの内容や表現について考えたことを、各連ごとにまとめたカードのうちの三枚です。これを読んで、あとの 1、2 の問いに答えなさい。

a この連では、昼夜を問わず、しっかりと立っているポプラの姿が描かれています。
また、 ということは、垂直方向への空間の広がりを表していて、
直前の連で表されていた水平方向への空間の広がりと対照的だと思います。

b この連では、音を表す語句を用いることで、ポプラが厳しい季節に立ち向かってきた様子が効果的に描かれています。さらに、過去の意味を表す助動詞があるので、その様子が回想として表現されているように感じました。

c この連では、春を迎えたポプラを見て、喜びを表現している子どもたちの様子が描かれていると思いました。そして、その喜びがずっと遠くまで伝わっていくことが、力強く言い切る語の繰り返しによって強調されていると感じました。

1 a は、第二連について考えたことをまとめたカードです。 に当てはまる最も適当な表現を、第二連から六字で書き抜きなさい。

2 b、c は、それぞれ第何連について考えたことをまとめたカードですか、組み合わせとして正しいものを、ア～エから選びなさい。

ア〔b 第一連 c 第四連〕
イ〔b 第三連 c 第四連〕
ウ〔b 第三連 c 第五連〕
エ〔b 第四連 c 第五連〕

二

次の文章を読んで、問いに答えなさい。

(武藤和昭「ケンジの海辺」による)

問一——線1、2、3の読みを書きなさい。

問二——線1「の」と同じく、主語をつくるはたらきをしているものを、——線ア―エから選びなさい。

問三——線2「今日からなんだって」とありますが、この表現に、どのようなことが今日からなのかかわかるようにことばを補って、次のように表現するとき、に入ることばを、文中のことばを用いて書きなさい。

のは、今日からなんだって

問四——線3「いつの間にか、日が高い位置にきていた」とありますが、このような、いつの間にか時間が過ぎていたことを表す表現からは、健二が、漁にどのように取り組んでいたことがわかりますか。漁にどのようなように取り組んでいたかが表されている最も適当な一文を、文中から書き抜きなさい。

問五 ある学級で、この文章の表現の工夫について話し合いをしたところ、次のような意見が出ました。①、②に当てはまる最も適当な一文を文中から選び、その一文の最初の五字を、それぞれ書きなさい。

Aさん——この文章では、健二の気持ちを効果的に表している部分がいくつかあると思います。例えば、健二が舟に乗り込んで海に出る場面では、短い文をたたみかけるように続けることで、漁に出る健二の緊張感と勇み立つ気持ちがよく表れるよう工夫されていると思います。

Bさん——そうですね。そのほかに、①という表現は、母の様子を表すだけでなく、海の上で一人きりになった健二の気持ちも読み取れるように工夫された表現だと思っています。

Cさん——私は、健二が宗八鰯を釣り上げた場面に注目しました。それまでの緊張や不安から解放された気持ちは、その気持ちを直接表す表現からもわかりますが、さらに、②という、健二の表情を表す一文があることで、一層効果的に伝わるのだと思います。

三

次の文章を読んで、問いに答えなさい。

問一 ―線1、2、3を漢字で書きなさい。

問二 〰線1「多種類」は、語の構成の仕方から「多」と「種類」に分けられます。〰線「食生活」、「氷河期」、「世界的」、「記念物」のうち、「多種類」と同じ構成の熟語を、アイから選びなさい。

ア 食生活 イ 氷河期 ウ 世界的 エ 記念物

問三 筆者は文中で、獣魚骨が貝塚の中に残ることができたのは、日本の場合、何がどのようなことをしたからだと述べていますか。三十字程度で書きなさい。

問四 で囲んだ段落について説明したものととして、最も適当なものを、アイエから選びなさい。

ア まず、貝塚が形成された歴史について述べ、次に、世界に存在する貝塚の規模を比較して、あとの段落の内容につなげている。

イ まず、貝塚が存在する地域について具体的に述べ、次に、貝塚の形成された時期に触れて、あとの段落の内容につなげている。

ウ まず、貝塚が存在する自然環境について具体的に述べ、次に、貝塚調査の問題点を挙げて、前の段落の内容に反論している。

エ まず、貝塚が形成された時期について述べ、次に、貝塚と人間とのかかわりの例を示して、前の段落の内容に反論している。

問五 〰線2「貝塚の形成が約一万年くらいから始まっている」とありますが、このことは、気候と地形のどのような変化によって、当時の人々がどのようなことをしたことによると筆者は述べていますか。次の三つの語を使い、八十字程度で説明しなさい。

海進

海岸部

食料

四

次の文章を読んで、問いに答えなさい。

(松平定信「花月草紙」による)

問一 ―― 線ア、エの「は」のうち、現代かなづかいで書く場合、「わ」と書くものを、選びなさい。

問二 ―― 線1「なげおく」とありますが、何を「なげおく」というのですか、ア、エから選びなさい。

ア 筆 イ 墨 ウ 硯 エ 紙

問三 ―― 線2「をかし」は「こつけいである」という意味ですが、作者は、どのようなことを「をかし」と言っているのですか、最も適当なものを、ア、エから選びなさい。

ア よい筆なので長持ちするだろうと思っていたが、筆が思いのほか傷んでしまうのは、筆の扱い方が乱暴なためだとしていること。

イ よくない筆なので長持ちしないだろうと思っていたが、筆がほとんど傷まないのは、筆の扱い方が丁寧なためだとしていること。

ウ この筆を長持ちさせようと思い、丁寧に扱っているにもかかわらず、筆がすぐに傷んでしまうのは、筆がよいくないせいだとしていること。

エ この筆は長持ちしないだろうと思い、乱暴に扱っておきながら、筆がすぐに傷んでしまうのは、筆がよいくないせいだとしていること。

第一部 国語

正 答 表

問題番号	一			二						三				四		
	問二		問一	問二	問三	問四	問五		問一	問二	問三	問四	問五	問一	問二	問三
	2	1					②	①								
	ウ	空にむかつて	ばんたん	ていこう	（正答例） 一人で本格的な漁をする	健二は夢中になって釣り続けていた。	寒さを忘れ	手を振って	基（づき）	営（み）	経験	ア	（正答例） 大量に存在する貝殻が、付近の土壌をアルカリ性に変える働きをしたから。	イ	（正答例） 一万年前から、世界的な規模で気候が温暖化したことによる海進が始まり、海岸部に入江が形成されたことによって、当時の人々が海から食料を得ることを始めたこと。	エ
正																
答																
配点	3	3	2	2	3	3	3	3	2	2	2	3	3	3	6	3
通し番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
採点基準	三 問三 「一人で漁をする」ことが適切に表現されているものを正答とする。 三 問三 1 「貝殻が、付近の土壌をアルカリ性に変えた」ことが適切に表現されているものを正答とする。 2 字数については、解答欄のわく内で答えるものとし、それを超えるもの、または、極端に少ないものについては、各一点を減じる。 3 表現の稚拙なもの、不十分なもの、表記上の欠陥のあるものについては、各一点を減じる。 4 減点の結果がマイナス点にならないようにする。 問五 1 ①「気候が温暖化したことによる海進が始まり、海岸部に入江が形成された」とこと、②当時の人々が「海から食料を得ることを始めた」ことの二点の関係が、指示された三つの語を使って適切に表現されているものを正答とする。 2 1の①、②のいずれかを欠いた場合は、各三点を減じる。 3 その他については、問三の採点基準2、3、4に準じる。															
計	3	3	3	2	3	3	3	3	2	2	2	3	3	3	6	3
60	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜

（注）正答表に示された事項以外のものについては、学校の判断による。